

平成29年度 厚木東高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	教育公務員としての規範意識を喚起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場啓発資料や職員行動指針等を活用して職場研修を行い、公務員としての自覚とモラルの向上を図った。 ・公務員としての自覚を持ち、適切な電話対応や来客対応ができた。
(2) わいせつ・セクハラ行為の防止	生徒に対する不適切指導、職員間における迷惑行為の根絶をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場啓発資料を活用して職場研修を行い、規範意識の向上を図った。 ・新聞記事を活用して、注意を喚起した。 ・日常的な態度や言葉に留意し、「人権感覚」を高めて適切に指導した。
(3) 体罰、不適切な指導の防止	生徒の理解に基づく指導を徹底する。（体罰、不適切な指導ゼロ）	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修により人権意識を高め、人権感覚を養った。 ・部活動、合宿における事故防止に努めた。 ・体罰防止、人権に配慮した指導ができた。
(4) 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	業務体制・日程を確認し、複数で確認することにより、事故・不祥事を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜業務においては、マニュアルに従い、複数で確認しながら業務を行うなど確実な業務遂行に努め、事故を防止できた。 ・調査書・進路関係書類・通知表の作成において、マニュアルを活用して、複数の職員による業務遂行と複数回によるチェック体制を徹底した。
(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流失を確実に防止し、情報セキュリティを徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の持ち出しは、必ず校長の許可を受けた上で行き、取り扱いには細心の注意を払った。 ・携帯電話、電子メールの不適切な使用をしないよう徹底した。
(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、並びに交通違反を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業直前の事故防止会議において酒酔い、酒気帯び運転は絶対にしないよう呼びかけた。 ・交通法規の順守を徹底できた。
(7) 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務体制を確立し、複数で確認することにより、事故・不祥事を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有と迅速な連絡を心がけ、複数の職員によるチェックを確実に行うことができた。
(8) 会計事務等の適正執行	私費会計のトラブルや事故・不祥事を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・諸会費等の振替誤りを防止することができた。 ・私費会計の執行に際しては、会計処理や諸帳簿の管理を適正に行うことができた。 ・校長・副校長・教頭・事務長は、私費会計について、執行等に関する調査を年に複数回、定期的実施した。
(9) 学校内の設備の安全管理と緊急時の迅速な対応	学校内の設備の安全管理と、緊急時を想定したマニュアルの確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内の設備を定期的に確認し、安全管理を行った。 ・学校行事計画において設備の安全点検・管理を行うとともに安全に十分配慮した行動計画を策定した。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題（学校長意見）

平成29年度不祥事ゼロプログラムの検証について、PDCAサイクルに則り、研修会後の職員の声を集約すると、「内容について、再確認できた」「注意するポイントが分かった」等の反応が多く聞かれた。大切なことは繰り返し伝えていくとともに、職員間でも互いに注意しながら業務がスムーズに行うことができるように、更に意識を高める工夫を行う。

平成30年度においては、29年度に引き続き、個人情報の管理・成績処理及び進路関係書類の作成に係る事故防止・入学者選抜に係る事故防止等に取り組むとともに、働き方改革も念頭に、業務執行体制の確保等にも重点的に取り組む。